

2013年日本海におけるハタハタの漁況および調査船調査に基づく分布密度

藤原邦浩（日本海区水産研究所）

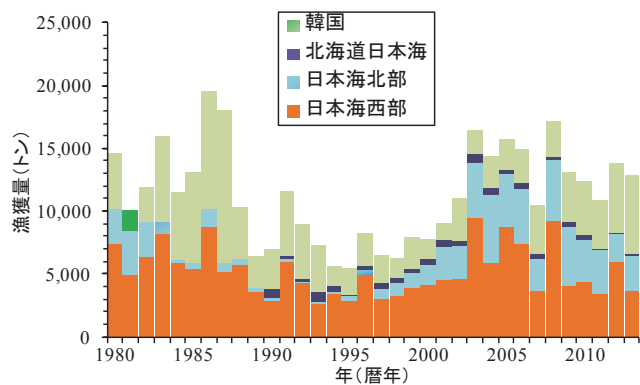
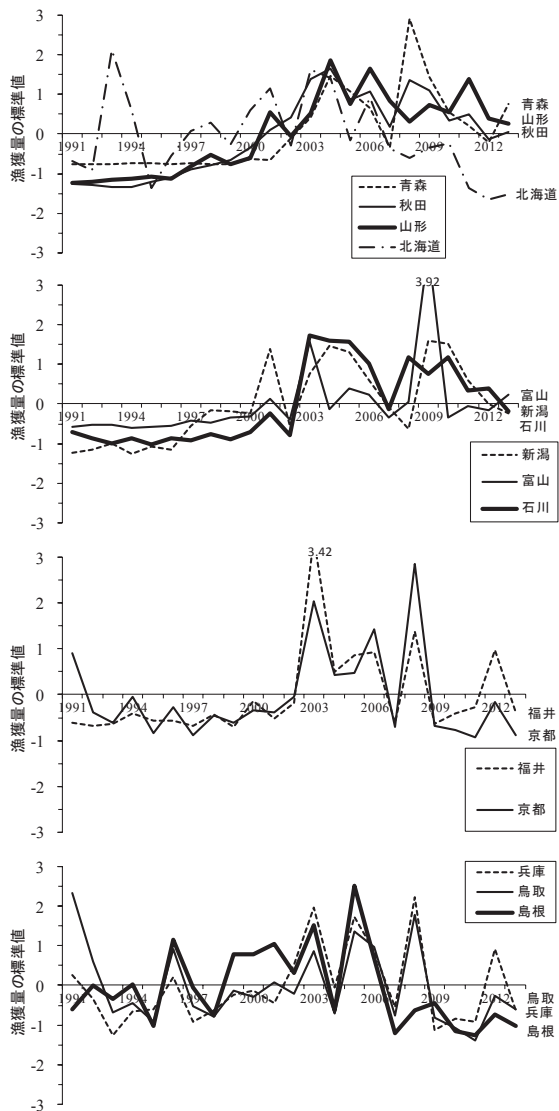


図1（上）

日本海におけるハタハタ海域別漁獲量の推移
 * 日本海北部（青森県～富山県）、日本海西部（石川県～島根県）および北海道日本海側（1990年以降）は漁業・養殖業生産統計年報に基づく。韓国は韓国統計庁 漁業生産統計による。

図2（左）

道府県別ハタハタの漁獲量（標準値）の推移
 * 値は、各道府県の漁獲量（漁業・養殖精算統計年報による）の1991年以降の平均と標準偏差を用いて標準化したものである。

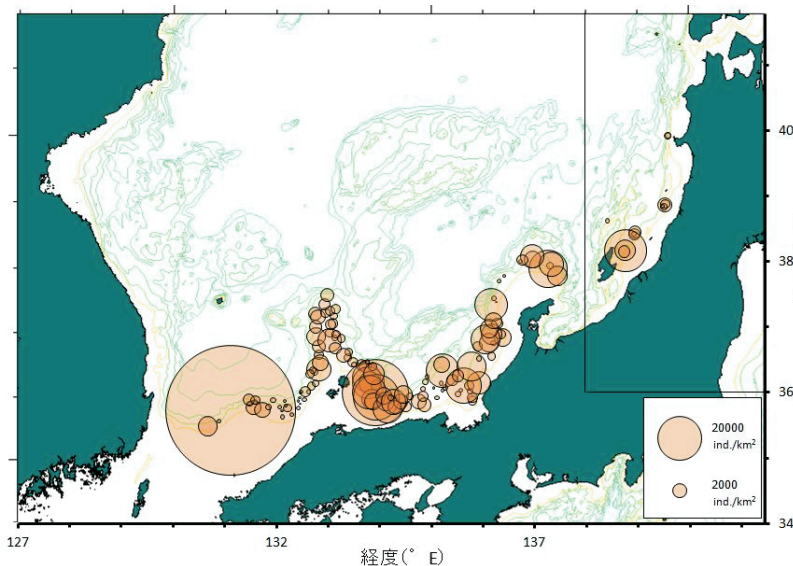


図3

2013年5～8月、日本海本州沿岸におけるハタハタ（雌雄込）の分布密度
 * 佐渡以北は日本海北部主要底魚類幼稚魚調査（みずほ丸（156t））、能登以西は日本海ズワイガニ等底魚資源調査（用船但州丸（499t））に基づく。採集効率 q は0.3とし、算出した。